

平成27年度 第1回 上野原市総合教育会議

議事録

1. 日時及び場所：平成27年5月20日（水）午後3時00分から午後4時00分
上野原市役所 2階 庁議室

2. 出席者 : 1 委員
江口市長、坂本教育委員長、佐藤教育委員長職務代理者、白倉教育委員、山下教育委員、和田教育長
〔6名/6名 出席〕

2 事務局
企画課（野崎企画課長、守屋政策推進担当リーダー、水越政策推進担当員、吉田政策推進担当員）、教育委員会（尾形社会教育課長、上原学校教育課長、清水教育総務担当リーダー、関戸教育総務担当員）

欠席者 : 無し

3. 次第 : 1 開会
2 市長あいさつ
3 教育委員長あいさつ
4 総合教育会議の設置趣旨
5 議事
（1）上野原市総合教育会議運営要綱（案）について
（2）上野原市の教育に関する大綱の策定について
6 その他
7 閉会

1 開会

(事務局)

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中ご出席をいただきありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます企画課長の野崎と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、これより第1回上野原市総合教育会議を始めさせていただきます。

2 市長あいさつ

(事務局)

始めに市長あいさつ。江口市長よろしくお願いいたします。

(市長)

皆様、こんにちは。

若葉の青さもすっかり目になじむようになり、吹き渡るさわやかな風が心地良い季節となりました。このような中、教育委員の皆様には大変お忙しいところ、この総合教育会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

ご案内のとおり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育行政にとりましては、大きな変革の年を迎えることとなります。また、この法改正により、教育行政における市長の権限が強化されましたが、これまでも教育委員の皆様とは機会あるごとに意見交換を行ってきましたので、引き続きお互いの考えを尊重し、少子高齢化社会に対峙する学校教育並びに社会教育の推進に、一体となって行動していきたいと思っております。なお、この総合教育会議により、相互に活発な議論を重ね、子供たちの学力や体力の向上、郷土を愛する心の醸成、高齢者の健康増進に資する社会教育活動など、教育委員の皆様のご意見等を伺いながら、民意を反映させた上野原市の教育行政があるべき姿を具現化し、実現に向けて舵取りを担っていきたいと思っております。

以上、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 教育委員長あいさつ

(事務局)

続きまして、教育委員長あいさつ。坂本教育委員長よろしくお願いいたします。

(教育委員長)

それでは、上野原市教育委員会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

近年、教育が抱える課題等は複雑かつ多岐にわたり、従来の学校教育では対処しきれない事案が数多く発生し、全国的にも教育会議が必要であるとの認識が広がりつつあります。これまで、時代背景や社会状況を反映し、適宜、教育制度改革が行われて

きましたが、今回の法改正には大きな意味があると考えています。特に主要な点は、総合教育会議という新たな枠組みのもと、教育委員会と首長とが密接に連携し、教育行政を推進して行くことです。また、平成20年から全国一斉学力調査が実施されており、保護者からは学力向上対策に大きな関心が寄せられております。

当市においても、児童生徒の学力及び体力の向上、社会規範教育の徹底など、教育課題は山積しております。このような中、教育委員会と市長とが協力し、今後ともより良い教育行政を目指していきたいと思います。

(事務局)

坂本教育委員長ありがとうございました。
ここで、事務局の紹介をさせていただきます。

【事務局紹介 省略】

4 総合教育会議の設置趣旨

(事務局)

総合教育会議の設置趣旨について、事務局からご説明させていただきます。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律 及び設置趣旨等について 説明】

(事務局)

事務局の説明について、ご質問ご意見等はございますか。

(委員)

無し。

5 議事

(事務局)

それでは、議事に移ります。協議事項の一つ目は「上野原市総合教育会議運営要綱(案)について」でございます。それでは、事務局からご説明させていただきます。

【上野原市総合教育会議運営要綱(案)について 説明】

(事務局)

事務局の説明について、ご質問ご意見等はございますか。

(委員)

無し。

(市長)

それでは、私から確認させていただきます。この会議は定例ではなく、必要に応じ

て招集することで良いか。

(事務局)

そのとおりです。

なお、以上よろしければ、この要綱に基づいて会議を運営させていただきます。

(委員)

異議無し。

(事務局)

次に、協議事項の二つ目は「上野原市の教育に関する大綱の策定について」でございます。

ただいまの要綱に基づき、江口市長に議長をお願いいたします。

(議長・市長)

それでは、要綱に基づき私が議長を務めさせていただきます。何分にも不慣れではございますので、皆様のご協力をお願いいたします。

次第に沿って議事を進めてまいります。この協議事項について、事務局に説明を求めます。

【上野原市の教育に関する大綱の制定について 説明】

(議長・市長)

それでは、議長の私から申し上げます。

委員の皆様には、この大綱の中に必ず記載して欲しい内容、教育に対する考え方、市当局への要望など、ご意見等をお伺いさせていただきたいと存じます。

(坂本教育委員長)

教育委員会のあり方については、教育内容を時代に則して改善していくことが重要であると考えます。子供たちの心の変化に対応するよう、民間企業の例を参考として教育行政としても努力していく必要があります。

また、教育方針はオリジナリティを持った内容とすべきであると考えます。平均的なものとするのも良いですが、市独自の内容を盛り込んでいく必要があると考えます。

(佐藤教育委員長職務代理者)

地域として、どのような教育をして、どのような環境を整えていくかが課題であり、今後の教育行政の推進につながるものと考えます。そのためには、社会教育の他、子供と大人とが一緒になる居場所作りを進めることで、地域の人材発掘や文化の継承にもつながることとなります。

また、子供の心を育てること、教育の中にも心の問題を併せて養っていくことが必要と考えます。そのためには、基礎基本となる学力の向上も必要であります。教育現場を改善して良い先生を育てていくことも大切であると思えます。

(白倉教育委員)

現在の子供たちは扱いが難しく、親の方でも悩んでいると思います(職場の事例により補足説明)。

また、親としては、自分の子供たちには良い先生に巡り合ってもらいたいと考えます。私の地域では中学校に進んでから不登校になった子供もいたので、環境や心の変化に配慮し、小中一貫教育についても進めて行っていただきたいと考えます。

(山下教育委員)

日々子育てしながら感じるのは、最近は子供も大人も社会環境の変化に過敏になっているのではないかということです。最近の子供が関与した事故の判例もあって、子供や親の責任が問われる社会状況にあると思います。

社会が、物が無い時代から物があふれる時代、今ある物で満足しなければならない時代へと変化する中で、従来からの不登校問題や地域独自の問題など、多種多様に教育行政が取り組んでいかなければならないものと考えます。

(和田委員長)

大綱の策定については、学校教育、社会教育、生涯学習が主要なテーマとして挙げられていますが、子育てなどの福祉的な市長の施策も組み込んでいく必要があると考えます。また、教育の現場では、先生の肉体的、精神的な負担が多く、心のケアと人材育成も重要となっていますので、教育のあり方とともに、施設の整備等も含めた中で検討していく必要があると考えます。

さらに、学校教育には家庭の理解が必要となりますので、学校、地域、家庭の協力体制を構築することも重要ではないかと考えております。

(議長・市長)

貴重なご意見をいただきありがとうございました。これらの意見を盛り込んで大綱を策定していきたいと思えます。

それでは、今後の教育会議の進め方等について、事務局に説明を求めます

(事務局)

次回の総合教育会議については、8月までに開催をしたいと考えております。その際には、本日お伺いした貴重なご意見等を盛り込んだ大綱(案)を作成し、提案させていただきます。また、必要により関係者や学識経験者をお呼びすることも検討しております。なお、今年度は3回から4回ほどの会議を予定しております。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

(議長・市長)

今後、諸課題に対応する強固な体制を構築し、この総合教育会議を中心として教育行政を推進して行くこととします。

これで、協議については終わります。引き続き、事務局により会議を進行させていただきます。

6 その他

(事務局)

次第のその他ですが、ご質問ご意見等はございますか。

(委員)

無し。

7 閉会

(事務局)

それでは、以上をもちまして、第1回上野原市総合教育会議を終了させていただき、互礼をもって散会いたします。

【互礼 散会】

以 上